

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 初発時に遠隔転移を有する前立腺癌患者における原発巣への放射線治療の有効性に関する研究

研究の目的

初発時に骨転移などの遠隔転移を有する前立腺癌に対する標準治療は薬物療法であり、放射線治療は痛みなどの症状を有する遠隔転移に対して姑息的・緩和的に実施されるにとどまります。しかしながら、薬物療法によってPSA（前立腺特異抗原）が正常化し、画像検査でも遠隔転移が縮小、不明瞭化する症例が一定の割合で存在します。そのような症例に対して、原発巣である前立腺に対しての放射線治療を加えることで生存率が改善するとの報告があり、当院でもしばしば泌尿器科より治療依頼があり実施しています。本研究の目的は、そのような症例に対する放射線治療の有効性を明らかにすることです。

研究実施期間： 実施許可日～ 2026年 3月 31日

対象となる方： 2015年4月1日～2025年8月31日までの間、附属病院放射線治療科を受診し、前立腺癌に対して放射線治療を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、診断名、ステージ、放射線治療を受けた期間、放射線治療の内容、画像検査結果、血液検査結果、転帰情報について標記研究のために利用します。具体的には、全生存率および生化学的非再発率を算出し、統計解析の手法でこれらに影響する因子を明らかにしたいと思います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	放射線治療科・畠山佳臣 0172-39-5103/yhatayama@hirosaki-u.ac.jp
--------------	---

